

近代文学評論大系 10

近代文学評論年表

編集
吉田 精一

角 川 書 店

近代文学評論大系
第10巻 近代文学評論年表



昭和五十年十一月二十五日 初版発行

編者 吉田 精一

発行者 角川 春樹

印刷所 暁印刷株式会社

製本所 株式会社 宮田製本所

発行所 株式会社 角川書店

東京都千代田区富士見二の一三
 〇一〇二 〇東京一九五二〇八
 電話東京(二六五)七一一一

近代文学評論年表

付

解説
雑誌総覧
筆名・雅号収覧

凡例

- 一、本年表は明治元年から昭和二十年までの間に発表された文学・演劇、思想・教育・芸術等に関する主要な評論を縦覧しうるように編纂した。
- 一、配列は編年式とし、各年毎に改段、一月から十二月までは追ひ込みとした。
- 一、年号欄中、改元の重なる明治四十五年と大正元年、大正十五年と昭和元年は、それぞれ明治四十五年、大正十五年とのみ表示した。
- 一、評論は、詩歌・俳句のジャンルに関するものとそれ以外のジャンルに関わるものとに二大別した。その上で各月毎に前者を▼印を付した論文の下に一括し、後者を▽印を付した論文の下に一括した。なお、配列は▽印のジャンルが先、▼印のジャンルを後とした。
- 一、論文の配列にあたっては、雑誌・新聞・単行本発表の別にし、その順に従った。また、雑誌・新聞発表のものは、それぞれ誌（紙）名の五十音順に従い、単行本の場合は、発行日の順に従った。
- 一、題名・筆者欄の表記については、全て原題のままとした。ただし、表題中の作品名などにみられるかぎは全て「」（重かぎ）に統一した。また、表題・人名中の洋語の拗音・促音は半音とせず、通常の表記とした（ホイットマン→ホイットマン）。
- 一、表題中のサブタイトルの類は、原則として本題よりも活字を一ポイント小さくした。また、角書の類も二行割の表記とせず、活字を本題より一ポイント小さくした上、一行にして表示した。
- 一、筆者欄中、外国人名を漢字音で表記したものは、必要に応じてかたかなで読みを示した。その場合（ ）に括り左脇あるいは下に記した。
- 一、筆者欄中、雅号・筆名等で発表されたものは、必要に応じて本名を（ ）に括り左脇に記した。
- 一、筆者欄中、筆者名を「」に括って表示したものは、発表時に無記名あるいは匿名であったものを推定記載したことを示す。
- 一、掲載紙誌・版元欄中、明治・大正・昭和の年号の表示は、それぞれ明・大・昭と略記した。

- 一、掲載紙誌・版元欄中、発表の論文が長期連載のものは以下の要領で示した。
 - 1、原則として、発表第一回の年月欄にのみ記載し、二回以降は掲載しない。
 - 2、新聞連載で、同月中たとえば、九日から十四日まで続く場合は、掲載紙名の下に（読売9～14）のように示した（日は省略した。以下同）。
 - 3、新聞連載で、同月中でもたとえば、九、十一、十二、十四日と掲載日の間があく場合は、掲載紙名の下に（読売9、11、12、14）のように示した。
 - 4、新聞連載で、たとえば四月二十八日から五月八日と月が替り続く場合は、掲載紙名の下に（読売28～5・8）のように示した。
 - 5、新聞連載で、たとえば明治三十五年十二月二十五日から明治三十六年一月十日と年が替り続く場合は、掲載紙名の下に（読売25～明36・1・10）のように示した。
 - 6、雑誌連載で、同年中たとえば、一月号から八月号まで続く場合は、掲載誌名の下に（新潮8月）のように示した。この場合第一回掲載月は年月欄で確認しうることで記さなかった（以下この点についての雑誌連載の扱いは同様）。
 - 7、雑誌連載で、同年中でもたとえば、一月号、八月号、十一月号と掲載月の間があく場合は、掲載誌名の下に（新潮8、11月）のように示した。
 - 8、雑誌連載で、たとえば明治四十四年十月から明治四十五年三月と年が替り続く場合は、掲載誌名の下に（新潮10明45・3）のように示した。この場合は月を省略した。
- 一、掲載紙誌・版元欄中、雑誌・新聞名は原則として完全表記とした。ただし、「朝日新聞」「毎日新聞」「読売新聞」「報知新聞」「郵便報知新聞」「東京新聞」「東京日日新聞」などはそれぞれ「新聞」を省略表記した。
- 一、月二回以上発行の雑誌は、掲載誌の号数を誌名の下に記した。ただし本来月刊誌であって、途中で発行回数が増えた回数以上になったものは、その期間中のみ号数を記し、月一回の刊行に復した場合は号数を記さなかった。これに該当する雑誌の主要なものに「以良都女」「国民之友」「女学雑誌」「太陽」「中央学術雑誌」「日本評論」「早稲田文学」その他がある。
- 一、単行本は、原則として発行日を記したが、未詳のまま発行所（者）を記載するにとどめたものもある。発行日は発行所（者）の下に算用数字で示した。

明治元年 (1868)					年
不明	10	9	8	3	月
▽西洋経済小学 上篇・下篇 (慶応三年刊 「経済小学」の 再版) 加藤 弘蔵 (弘元) 福沢 諭吉 ブチジアン編 ヒツセリノグ 津田真一郎訳 中井 貞 目見耳聞西洋紀行					題
イリス 神田孝平重訳 (慶応三年刊 「経済小学」の 再版) 加藤 弘蔵 (弘元) 福沢 諭吉 ブチジアン編 ヒツセリノグ 津田真一郎訳 中井 貞					筆者
上州屋摺七刊 慶応義塾蔵版 長崎教会 江戸開成所 大阪敦賀屋為七 発行					掲載紙誌・版元
明治2年 (1869)					年
不明	12	10	7	4	3
▽蘭学事始 砲薙十種 鉛筆紀聞 卷之一 砲薙十種 硃筆追録 卷之二 夢醒真論 交易問答 上・下 玫瑰花冠記録 泰西史鑑 上篇・中篇・下篇 (全三十冊) 西洋易知録 (全四冊) 西洋聞見録 前篇・後篇 (全八冊) 万国新話 卷一 卷三					題
杉田 玄白 栗本鑑化鵬問 答筆記 栗本鑑化鵬 (栗本鑑化鵬 答筆記) 婦正 痴土 (貞方良助) 加藤 弘蔵 じわんでるへ た訳 ブチジアン翻 刻 勿 的 爾 西 村 冊重訳 科 利 耳 (コルリール) 河津保四郎訳 村田文夫纂述 三叉漁史編 屋摺七刊					筆者
杉田鶴蔵刊 九潜館蔵版 杉田鶴蔵刊 九潜館蔵版 自家版 谷山楼蔵版 長崎教会 稲田佐兵衛他刊 明14 知新館 明3 広島井筒屋勝次 郎他刊 明4・1 宣信斎蔵板 上州 屋摺七刊					掲載紙誌・版元

明治 3 年 (1870)

3 7 11 10 不明

▽東湖隨筆上・下
▽真政大意上・下
▽西洋事情二篇
▽百学連環(譯義)
西国立志編原名自助論
西洋紀行航海新説
西洋史記一卷、六卷

藤田 東湖 三書堂秋田屋惣助他刊
加藤 弘之 谷山楼藏梓
福沢 諭吉 勝村治右衛門他發行
西邁爾斯 尚古堂、明5
斯邁爾斯(スマイル) 木平謙一郎藏版
中村敬太郎訳 静岡本屋市藏
中井 桜洲 東京須原屋茂兵衛他刊、明4・7
駝 悞 慶 桜雲山房藏版
村上義茂重訳 万笈閣

明治 4 年 (1871)

5 7 8 12

▽西洋夜話 初篇、五篇
▽摩太福音書
▽泰西勸善訓蒙 前篇・後篇・続篇
▽省儉録

寧靜学人編訳 (石川孝)
養恩堂藏板
翰林堂發行
ゴープル訳 横浜、明6・5
ボーンヌ 名古屋学校藏版
箕作麟祥訳 中外堂發行
佐久間象山、明7
勝義邦校 聚遠楼藏梓

明治 5 年 (1872)										年
				8	6	4		2		月
題 名										
筆 者										
掲載紙誌・版元										
明治 6 年 (1873)										年
				12	11	10	9	8	7	月
題 名										
筆 者										
掲載紙誌・版元										

2

▽自由之理 一〇五

西洋新書

学問のすゝめ 初篇〜十七篇

▽国法汎論

▽童蒙をしへ草 初篇・二篇

▽擬泰西人上書

西洋料理通 上巻・下巻

約翰伝福音書

馬可伝福音書

筆 者

弥 爾 (ミル)

中村敬太郎訳

瓜生政和編

福 沢 諭 吉

ブルンチュリ

加藤弘之訳

チャンブル

福沢諭吉訳

〔中村敬字〕

英人撰述

仮名垣魯文編

ヘボン訳

ヘボン訳

ヘボン訳

ヘボン訳

ヘボン訳

ヘボン訳

ヘボン訳

掲載紙誌・版元

木平謙一郎蔵版

吉川半七他刊

宝集堂 明 8

慶応義塾出版局

明 9・11

文部省蔵版

明 7

尚古堂 9 月

新聞雑誌 56 号

江島喜兵衛刊

1

▽福沢先生の「カタワ娘」と世論
Education in Japan

Arinori Mo-ri

▽三条演義

▽西哲叢談 卷之二 卷之三

▽三則教の捷徑

▽第一文字之教

▽第二文字之教

▽文明開化 初篇

▽共和政治 (全三冊)

西国童子鑑 一〜二

▽文字之教附録手紙之文

上木自由之論

▽三則童諭目安一 一人間心得草

開化の入口 初篇・二篇

弁 安

馬太伝

筆 者

田 中 頼 庸

瓜生政和編刊

仮名垣魯文

福沢諭吉

福沢諭吉

加藤祐一

ギルレット

中村正直訳

ハルベル

中村正直訳

福沢諭吉

トックビル

小幡篤次郎訳

上田及淵

横河秋濤

安井息軒

ヘボン訳

ヘボン訳

掲載紙誌・版元

東京日日 26

New-York D. Appleton and Company

中西源八刊 7

中西源八刊

自家版

自家版

大坂柳原喜兵衛

刊

静岡木平譲梓

同人社木平譲梓

自家版

自家版

大坂大野木市兵衛刊

大坂松邑文海堂

明 7・6

中西源八蔵版

年	月	題	名	筆	者	掲載紙誌・版元	年	月	題	名	筆	者	掲載紙誌・版元
1875	1	▽論通常之教養 文明余誌田舎繁昌記 初編・二編 如是我観	大内 青巒 松本 万年	共存雑誌1号 文昌堂磯部屋太 郎兵衛刊 3月	11	▽人は禽獸と異なり 民権論(社説) 日本文法論 万法精理 第一冊(第十八冊)	乙 彦 〔関 新吾〕 大槻 文彦 孟德斯鳩 (モンテスキエ) 何礼之重訳 大塚 襲水 増山 守正編 佐田 白茅	東京石川治兵衛 虎捌18 雅俗新聞 評論新聞34号 洋々社談 何氏蔵版 東生亀次郎他発 行(明9・1)					
1875	2	▽「字問ノス、メ」評判 ▽賊説 西洋開化史 上巻・下巻	西村 茂樹 ギユイザウ 美訳局室田充	朝野新聞8 明六雑誌 印書局甲行 5月	12	▽科駁學問勸懲(一名學問勸打返上下 旧習一新 上之巻・下之巻 極論開化	不明	不明	不明	不明	不明	不明	
1875	3	▽情欲論 選権論の景況 日本の文明を論ず 文明論之概略 卷之一(卷之六 心理学 第一巻(第三巻	津田 真道 福地 桜痴 福沢 諭吉 奚 般 (イブン)	明六雑誌 東京日日15 郵便報知22・29 自家版 文部省 明9・9	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明		
1875	4	文明開化評林 卷之一(卷之三 ▽文明ニ反対スル人ノ論 日本の文明を論ずる補遺 代議政体 卷之一(卷之四	西 周 岡部啓五郎輯 遠山 霞影 弥 爾 永峰 秀樹訳 西村 茂樹 西村 茂樹 遷上 漁客 加利利馬太 田島象一訳評	万笈閣蔵梓 婉屋喜兵衛發売 朝野新聞8 郵便報知3 奎章閣山城屋政 吉刊(明11・3 明六雑誌(10月 明六雑誌 朝野新聞22 任天書院蔵版	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明		
1875	5	▽人生三寶説 政府与人民異利害論 文辭の弊ヲ論ス 新約全書評駁 上編・中編・下編	〔福地 桜痴〕 渡辺修次郎 広田 卓次録 石井富太郎	郵便報知31 東京日日29 東京曙新聞3 光風社蔵梓 大阪柳原喜兵衛	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	
1875	6	▽福沢諭吉の「案外論」 ▽文論(社説) ▽日本文ヲ制定スル方法 ▽明治の光(一名南極散史夜話 卷一・ 卷二	〔福地 桜痴〕 渡辺修次郎 広田 卓次録 石井富太郎	郵便報知31 東京日日29 東京曙新聞3 光風社蔵梓 大阪柳原喜兵衛	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	

明治九年 (1876)									
12	11	10	9	8	6	5	4	3	2 1
俗夢驚談	▽書語口語同ジキヲ欲スルノ説 日本文字變革論 淫書ヲ焚燬スル十法 世ノ翻訳先生ニ告グル文	▽思想論 後篇 想像力ハ記憶力ノ変体ナルヲ論ス ドドイツの説	▽思想論 新聞紙ノ文ヲ論ス	▽龍動繁昌記 ▽日本文章論 ▽思想論 自由ハ鮮血ヲ以テ買ハザル可カラザル論	▽庄制政府ハ顛覆ス可キノ論 暴虐官吏ハ刺殺スベキノ論 政黨論〔社説〕 利害論	▽芝居ヲ廃スヘキ論 ジヤンジャツクルーソー氏伝 近世日本外史 卷一、卷八	▽人情本を廃すべきの小言 学者安心論 大久保春樹	▽日本民権論並評 日本民権論ノ景況ヲ論ズ〔社説〕 可禁神史小説之資本議 日本文典 上・下	▽庄制政府顛覆スベキノ論並評 ▽日本文章論〔社説〕 明治宝典ノ文体ヲ論ズ 猿人君主
関新吾合著	中島勝義・ (植木枝盛)	植木枝盛 文雄	植木枝盛	桜州山人 笹島吉太郎 植木枝盛 植木枝盛 箭川甚水	沢井尚次 守屋貫造 〔福地桜痴〕 〔福地桜痴〕 植木逕 〔枝盛〕	関機	福沢諭吉 大谷万寿男	千河岸貫一 中根 淑 服部 撫松 大久保春樹 福沢諭吉	伊東孝二 海内果 植木枝盛 中島勝義
大坂吉岡平助刊	朝野新聞16 東京新報1号 郵便報知5	同人社文学雑誌 朝野新聞16 東京新報1号 郵便報知4、9	郵便報知7 風雅新聞1号 郵便報知14	郵便報知9、14 東京曙新聞8 郵便報知3、6 郵便報知7 湖海新報11号	草莽雜誌 草莽雜誌 東京日日13 東京日日24 湖海新報11号	衛他刊 三書堂稲田佐兵	東京曙新聞29 評論新聞90号	森屋治兵衛刊 東京新誌2号 東京新誌2号 自家版	評論新聞62号 朝野新聞25 東京日日28 郵便報知15 評論新聞71号 湖海新報2号 東京日日4
明治九年 (1876)									
									不明
									文明論女大学 息軒文鈔 東京日々新聞
									土居光華編 安井息軒 松本万年 貯書楼

明治一〇年 (1877)								年
12 11	10	9	8 7	5	3	2	1	月
▽政党論 民権問答 ▽春夏秋冬説ノ評 ▽文明ト自由ハ並行ス可ラザル歟								題
▽日本教育史略 日本開化小史 卷一・卷二 日本開化小史 卷一・卷六 新聞紙の悪徳を論ず 何ヲカ開化ト謂フ 板権所有ノ論 俳諧の説(一)・(二) 利学 上・下 明治新撰西京繁昌記 初編上・下 風雅を売るの弊 国会論 横浜新誌 初編 方今大阪繁昌記 上・下 石田 魚門 会田 皆真 坂本南海男 川井 景一 増山 守正編 弥留(ミル) 西 周訳 香月 庵元 千河岸貫一 井上良一述 川上謹一筆記 植木 枝盛 田口 卯吉 〔福地 桜痴〕 〔福地 桜痴〕 児島彰二編刊 南部 義壽 小牟呂 新 (小室安外雲)								筆 者
朝野新聞 16 郵便報知 25 三書堂稲田佐兵衛他刊 28 大阪大野木 4月 風雅新聞 12号 東京曙新聞 5 鈴木滝三郎 池田幸吉刊 福井源次郎 大谷仁兵衛刊 掬翠楼蔵版 島村利助 鳩居堂久兵衛發行 滑稽風雅新聞 20号 東京日日 19 学芸志林 東京日日 9 文部省編刊 海南新誌 22 田口蔵版 丸屋善七他売捌 15・10 東京日日 18 水炭有蒼舎蔵版 中郷熊次郎発売 1 洋々社談 大阪日報 19								掲載紙誌・版元
明治一〇年 (1877)								年
								月
怨軒文鈔 初編(三編(全七冊)) 民約論(全四冊)								題
								名
信夫 榮 (信夫怨軒) 服部 徳訳								筆 者
奇文欣賞書楼蔵版(明治21・12) 有村壮一蔵版 島村利助他刊 27								掲載紙誌・版元

明治十一年 (1878)										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
▽日本新聞紙論 福沢文集 一編・二編	文芸類纂 卷一・卷八 ▽日本宗教者三十年之命脈 奚般氏心理学 上・下巻 以呂波短歌変体講釈	▽狂言作者ノ不学ヲ歎ス〔社説〕 雜誌論 著述の窃盜〔社説〕 偶評欧米大家所見集一・三 柳北奇文 上・下	▽古今証徴論 開明新論 ▽文章論 ▽俳優の技もまた學問の一端たる説 世界ヲ愛ス可キヲ論ズ 西洋品行論 一冊・十二冊			▽民権ヲ擴張スルノ方法 日本の自由〔社説〕 ▽言論自由アリヤ 東京新橋雜記 初篇・二篇		▽説書之自由 人間一生花ノ如シ 通俗民権論 通俗國權論 初篇・二篇 ▽身代限り切迫論 專制ノ下ニハ空想論者多シ		
花田 直正 植木 枝盛	福沢 諭吉 榎原 芳野編 小牟呂 新 ヘーブン 西 周訳 小牟呂 新・ 大江 山人 関 新吾	土居光華訳編 成島 柳北・ 西山 喜内編 春野 情男 植木 枝盛 谷省 顧斎 依田 百川 杉山藤次郎 斯邁爾斯 (スマイルズ) 中村 正直訳				成島 柳北 松本 万年 土岐 政孝 植木 枝盛 福沢 諭吉 魯 文 植木 枝盛				
上陽新聞 10 松口栄造蔵版 明 12	文部省 大坂日報 24・27 文部省 明 12	大坂日報 16・3・31 大坂日報 12・13 大坂日報 28 東京日日 27 稲田佐兵衛刊 15 明 8堂	新聞集誌 自家版 22 大坂日報 3 洋々社談 東京曙新聞 18 珊瑚閣 明 12			大坂日報 19・21 東京曙新聞 5 朝野新聞 25 山城屋稲田政吉 刊 11月 学芸叢談 大坂日報 29 自家版 自家版 明 12・3 魯文珍報 27・28 大阪新報 9				
明治十一年 (1878)										
12	不明									
▽著書翻訳ハ時勢ニ從フノ論 社会黨鎮圧法〔社説〕 文明田舎問答 初篇 繪入通俗民権百家伝 一・三										
末広 鉄腸 松田 敏足著刊 島田 三郎抄訳 萩原 乙彦演義										
濁澤叢談 東京日日 16 中島徳兵衛亮桐 薔薇楼蔵梓 稲田佐吉刊										

明治 12 年 (1879)								年
8	7	6	5	4	3	2	1	月
▽以「羅馬字」写「国語」並盛「正則漢学」論 ▽關邪論								題
▽文章之奴隸 社会党ノ原因及来勢 条約改正論 文学の独立〔社説〕 雅中の俗調								筆
▽切字の論（全三回） 読書論 百科全書修辭及華文 劇場客物語 読書人論 日本末々文学ナシ 民権自由論								者
▽訳字説 政權 文学論 講談ヲ論ズ 土居光華・ 菅生奉三訳 大内 青巒 坂本南海男 末広 鉄腸 浅野 乾 松原 孔蔵 夜光 沢墨 植木 枝盛 猫々 道人 小室 重弘 菊池 大麓 東村庵月彦 菊田 文雄 〔福地桜痴〕 仮名垣魯文 南部 義壽								揭載紙誌・版元
大坂日報 14 高橋源吾郎刊 丹羽純一郎 犬養 毅 尾崎 行雄 伯 克 爾 （ハックル） 林新造刊 片桐起太郎・小 5ノ12・25 共存雑誌 5月 大坂日報 6ノ10 朝野新聞 17 朝野新聞 23 東京曙新聞 1 郵便報知 2・7 福岡集文堂・船 木弥助刊 歌舞伎新報 7月 東京曙新聞 17 文部省 俳諧新報 8号 明13・9 東京曙新聞 10 東京曙新聞 16ノ8・7 東京日日 3 郵便報知 9、11 滑稽風雅新聞 67 共存雑誌 朝野新聞 10ノ9・16								年
明治 12 年 (1879)								月
社会党ノ利害ヲ弁シ併テ某新聞社説ヲ駁ス 読朝野新聞關邪論〔社説〕 民情一新 ▽重読朝野新聞關邪論〔社説〕 人民ノ思想政治範圍ニ進入スルノ形勢ヲ論ス〔社説〕 西洋民権家列伝 上巻 ▽琉球事件 ▽近世佳人伝 初編ノ三編 開化本論 上・下 普通民権論 琉球処分提綱從明治四年至同十二年 赤穂四十七士論 人権の保護〔社説〕 新聞紙及び雑誌読売ノ禁止〔社説〕 板垣退助公伝南の海自由旗揚唱歌の説 輸入通俗民権百家伝 二篇								題
福沢 論吉 竹内正志編 克蘭德氏ノ意見 見 ヨング氏筆記 睡花 仙史 吉岡 徳明編 福本巴（日唐） 遠藤 達一 後藤 敬臣 植木 枝盛 牧岡安二郎編 田口 卯吉 本多省三抄訳 萩原乙彦演義								筆
東京曙新聞 13 東京曙新聞 22ノ23 自家版 東京曙新聞 18ノ20 郵便報知 3ノ4 浪華学舎 郵便報知 14ノ27 蒲生氏蔵梓 弘道社 福岡磊落堂 内務省 時習社 東京日日 2ノ5 郵便報知 11 大阪拱海社 嚶鳴雑誌 蕃棧樓藏梓 稲田佐吉刊								揭載紙誌・版元

明治 13 年 (1880)												
11	10	9 8	7	6	5	4	3 2	1				
▽経世余論を読む 愛国論〔社説〕 日本ノ秀傑ヲシテ社会党タラシム ル勿レ〔社説〕 民権国家破綻論 ▽民権手引草 ▽民権ハ王道タルノ論〔社説〕 民権弁惑 利用論上・下 ▽王法論 斯氏教育論 偶評西先生論集 ▽文明開化は小説を害す 人身の権理〔社説〕 ▽出版演説ノ自由ニセザル可カラザ ルヲ論ス 文学論 男女差異論 ▽日本国民大義論〔社説〕 言論自由論 ▽知足ノ弊害 ▽言論立箱撃之弊 抵抗ノ精神〔社説〕 東洋立志編 ▽理義ノ勢力ヲ論ス 経世新論 ▽人民ノ国家ニ対スル精神ヲ論ズ 癡蔽ノ害									田口 卯吉	東京経済雑誌 大坂日報14、16 東京曙新聞 28、3、12 大阪二友書樓 大坂石川和助刊 東京日日27、30 自家版・丸屋善 七虎樹29 山中市兵衛発行		
植木 枝盛 小室 信介	井上 勤	渡辺 禎一郎	外山 正一	弥 留	洪谷啓蔵訳刊 鳥尾小弥太	スベンセル 尺 振八訳 西 周・ 土居光華批評 萱生 奉三編 足 薪翁 (高島監巻)	〔植木枝盛〕 東京日日22、28 愛国志林	井上哲次郎 堀部彦次郎 植木 枝盛 植木 枝盛 山 川 省 松村 操編 原 定一 杉田 敬	大坂日報20、22 東京日日14、27 大坂愛国舎 大坂日報24、25 東京曙新聞22 郵便報知4 巖々堂25 郵便報知1、2 自家版・大阪柳 原喜兵衛宛 愛国新誌12、28 大坂日報17			
明治 13 年 (1880)												
12 11												
人民自由ノ真理ヲ論ズ〔社説〕 ▽平仮名国会論 重テ癡蔽ノ害ヲ論ス 嗚呼日本未ダ一著述ナシ 花柳事情 一、三 小室 信介 小室 信介 杉山藤次郎 醉多 道士 (田島象二)												
江湖南報24、26、27 大阪朝日1、26、27 大坂日報1 東京曙新聞 4、18 弘令社												

明治 14 年 (1881)											年 月
11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	題 名 筆 者
▽漢学者 女権真論	▽文明問答 虚無党論 ▽干渉ノ弊害 通俗明治民権之花 ▽近世社会党ノ原因ヲ論ス 著述翻訳の弊害 文章論〔社説〕 ▽文章小言 社会平権論 第一卷〜第六卷	▽稗史小説ノ利益ヲ論ス 自由ト情死セル者 美術ノ保護〔社説〕 東京新繁昌記後編 ▽日本人民ニ果シテ人文ノ自由ナキ カ ▽男女同権ハ海南ノ某一隅ヨリ始ル 〔社説〕 ▽時勢論	▽詩論一斑 ▽稗史小説ノ結構及ビ功用ヲ論ス 学芸論 人為淘汰ニヨリテ人才ヲ得ルノ術 ヲ論ス 爺氣真吾理 ▽航西日乗	杉山 藤次郎 スベンセル 井上 勤訳 鈴木 月彦 高須 鉄峯 末広 鉄腸 川島 正三編 〔小崎弘道〕 東直之助 〔福地桜痴〕 成島 柳北 斯 辺 瑣 〔スベンサー〕 松島 剛訳 玩球 少年 榎 居士 〔檀木枝盛〕 服部 誠一 高梨哲四郎	東京曙新聞 4 思誠堂蔵版 兎屋発行 11 明倫雜誌 東京曙新聞 25 朝野新聞 11 明治出版社 六合雜誌 東京曙新聞 12 東京日日 23・24 読売新聞 28 報告社 20・明 17・2 鳳鳴新誌 高知新聞 24・30 東京曙新聞 17 自足軒蔵版 東京日日 15・16 高知新聞 31	田中 亨・ 岡本 武雄 鎌 堂 香夢楼主人 〔三木愛花〕 井上哲次郎 加藤 弘之 高島 藍泉 遷上 漁史 〔成島柳北〕	東京曙新聞 27 花月新誌 17・8	明 治 14 年 (1881)	不明	12	11
▽筆頭裁花―愛花情史ニ呈ス 公平優美ノ弁惑 如何ナル書籍ヲ絶版スベキカ〔社 説〕 板垣君意見要覽	福沢先生時事小言偶評 読福沢論吉氏時事小言 其一〜其五 集会演説ヲ自由ナラシムルノ効力 〔社説〕 政治論略	ボ ル ク 金子堅太郎抄 三 叉 漁夫 才谷梅二郎 木滝清頼編纂	六合雜誌 六合雜誌 明 15・5 東京曙新聞 1・2 元老院蔵版	東京新誌 土陽新聞 20・21 郵便報知 24 甘泉堂他発行	明 治 14 年 (1881)	不明	12	11			